

足羽川ダム計画(案)の概要

足羽川ダム計画(案)の概要

足羽川ダム計画(案)は、足羽川、日野川、九頭竜川の下流域における洪水被害の軽減を目的として、九頭竜川水系足羽川の支川部子川(福井県今立郡池田町小畑地先)に洪水調節専用のダムと併せて、他流域の4河川(水海川、足羽川、割谷川、赤谷川)の洪水を導水するための分水施設(堰・導水路)を整備するものです。

◆ダムの目的

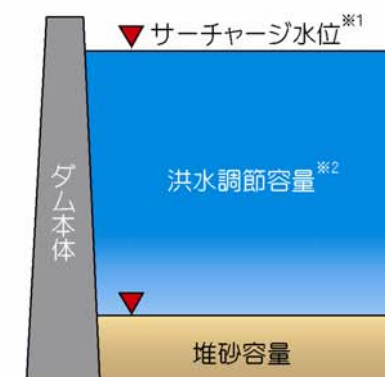
○洪水調節

足羽川、日野川、九頭竜川の下流域における洪水被害の軽減を目的としています。

◆建設予定地

- ・位置：福井県今立郡池田町小畑地先
- ・形式：重力式コンクリートダム

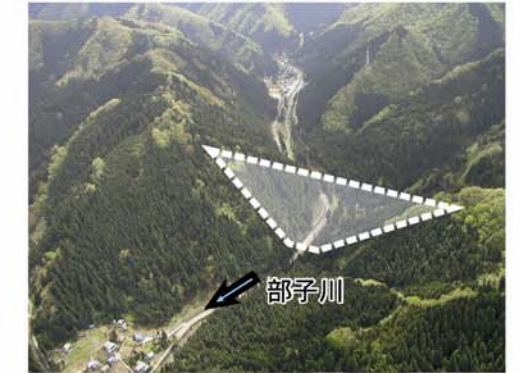
◆貯水池容量配分図



※1：洪水時に貯水する最高の水位

※2：下流の洪水を減らすために一時的に川の水を貯めておく容量

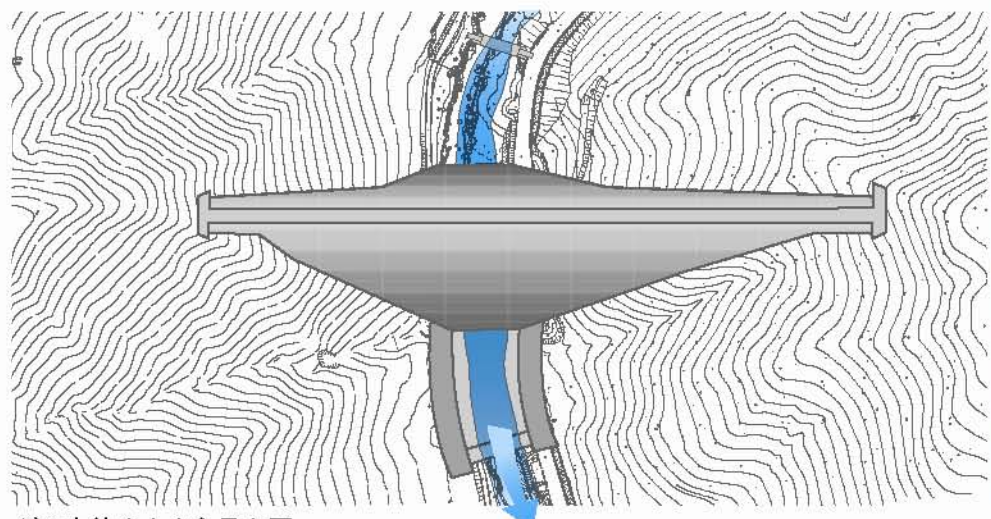
◆足羽川ダム建設予定地



足羽川ダム計画(案)概要図

ダム施設

足羽川ダムは、洪水調節専用のダムとして計画しています。



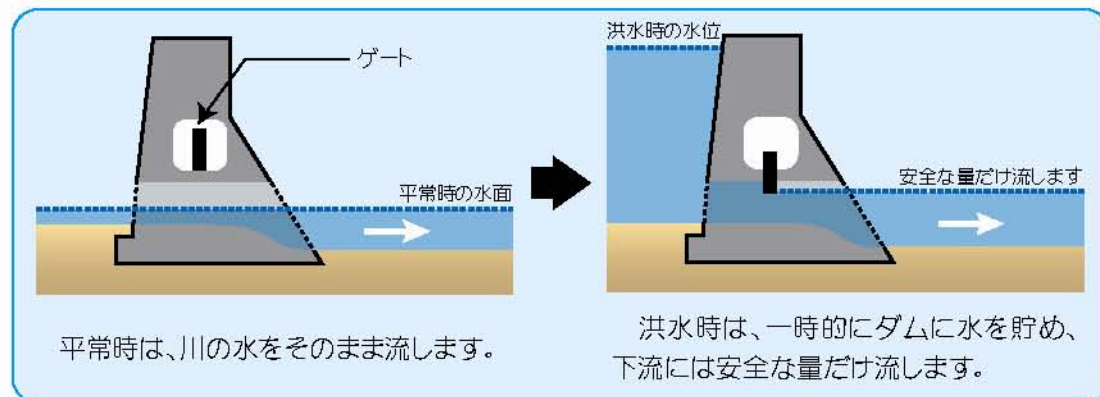
ダム本体を上から見た図



ダム本体を斜め上から見たイメージ



ダム本体を川の上流側から見たイメージ

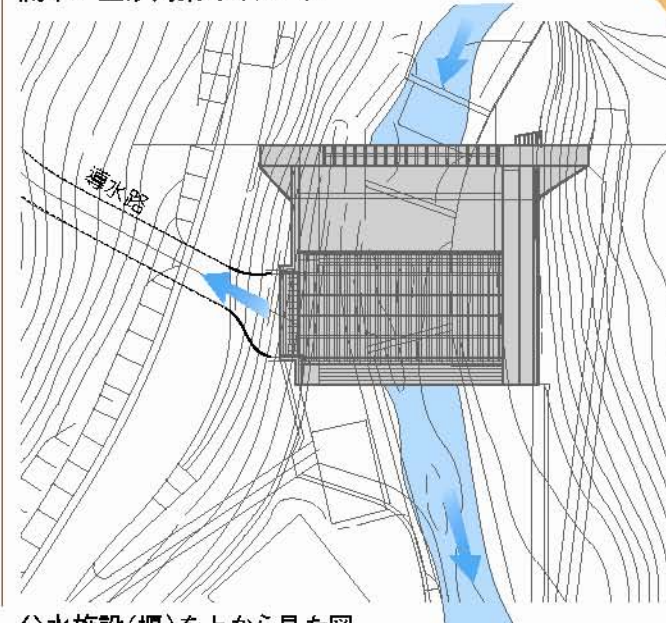


洪水調節専用ダムのイメージ

分水施設(堰)

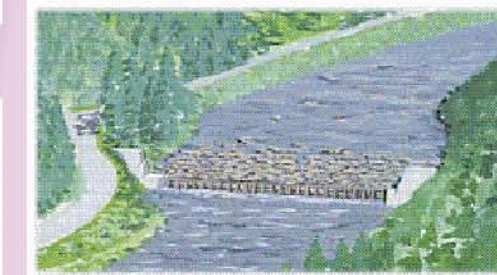


流木・土砂対策のイメージ

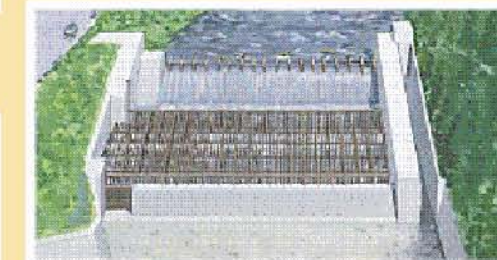


分水施設(堰)を上から見た図

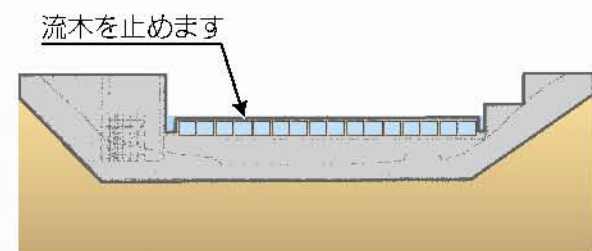
分水施設(堰)の上流では、導水路に流木や土砂が流入しないよう対策を実施します。



大きな石や流木を止めます



さらに流れてきた流木や土砂を止めます

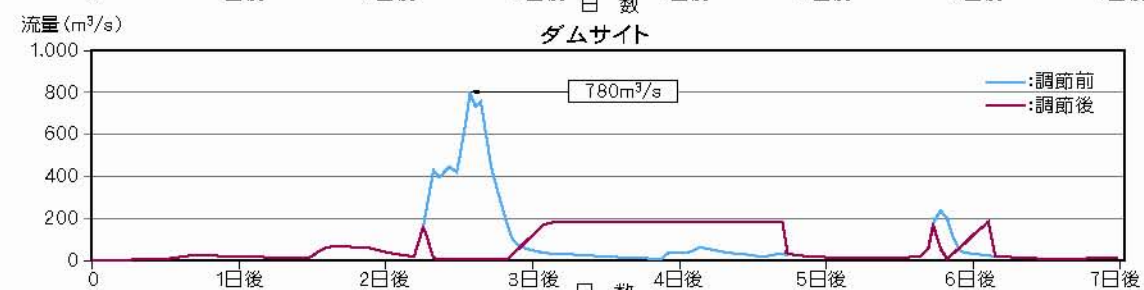
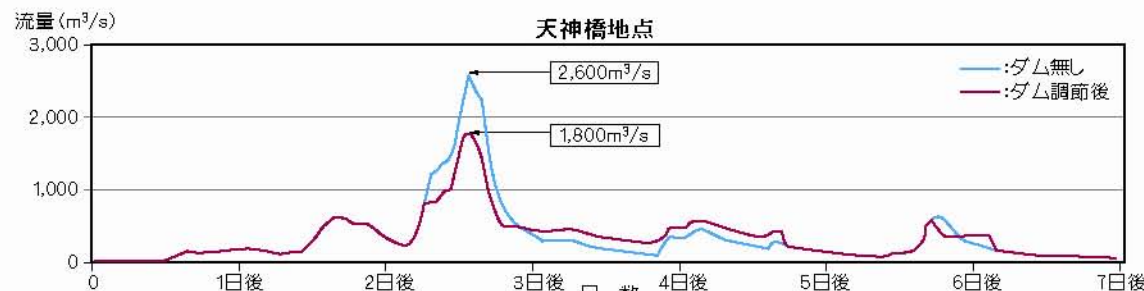


流木を止めます

分水施設(堰)を川の上流側から見た図

洪水調節計画

足羽川ダムは、天神橋地点における基本高水のピーク流量 $2,600\text{m}^3/\text{s}$ を $1,800\text{m}^3/\text{s}$ に低減させます。洪水調節の方法としては、少ない洪水調節容量で最大の洪水調節効果を上げることができる不定率調節方式を採用しています。



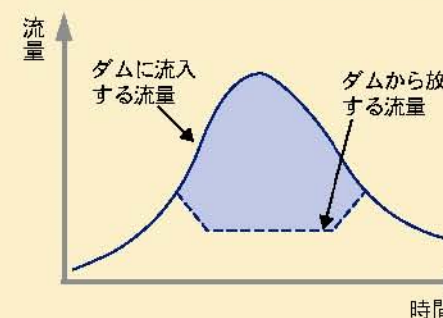
不定率調節方式とは?

別名として、「バケットカット」、「鍋底カット」とも呼ばれています。

この方式は、洪水による流入量の一番多いところを貯留する方式です。

少ない洪水調節容量で最大の洪水調節効果を上げることができます。

不定率調節方式の概念図



洪水調節専用ダムの特徴

洪水調節専用ダムは、環境負荷の小さいダムとして近年注目を集めています。平常時に水を貯めないため次のような特徴があげられます。

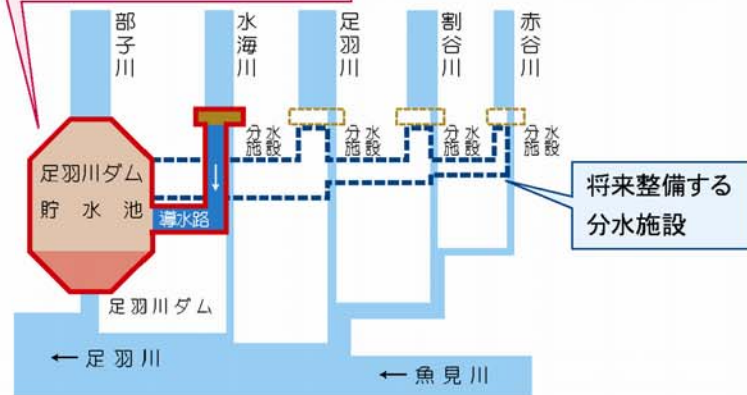
- ・水質(土砂による水の濁り、水温、富栄養化等)への影響は想定されない
- ・ダム周辺および下流河川の動植物の生息生育環境への負荷は小さい
- ・ダム上下流方向の連続性(流況、土砂移動)が保たれる

今後20~30年の間に先行して整備するダムと分水施設

国と福井県では今後、九頭竜川水系で20~30年の間に整備する内容を河川整備計画としてまとめる予定です。

この整備計画期間内に整備する足羽川ダムは、「ダム本体」と「水海川の分水施設」を予定しています。ダム本体については九頭竜川水系の将来のあり方を定めた、河川整備基本方針に対応した規模・構造で建設していきます。分水施設(導水路)については危機管理や洪水調節機能の確保の観点から、水海川からと他3河川からの導水路を別々とし、そのうち水海川からの導水路を整備計画に対応した規模で建設していきます。

今後20~30年の間に先行して整備するダム・分水施設



今後20~30年の間に先行して整備するダムと分水施設の概要図



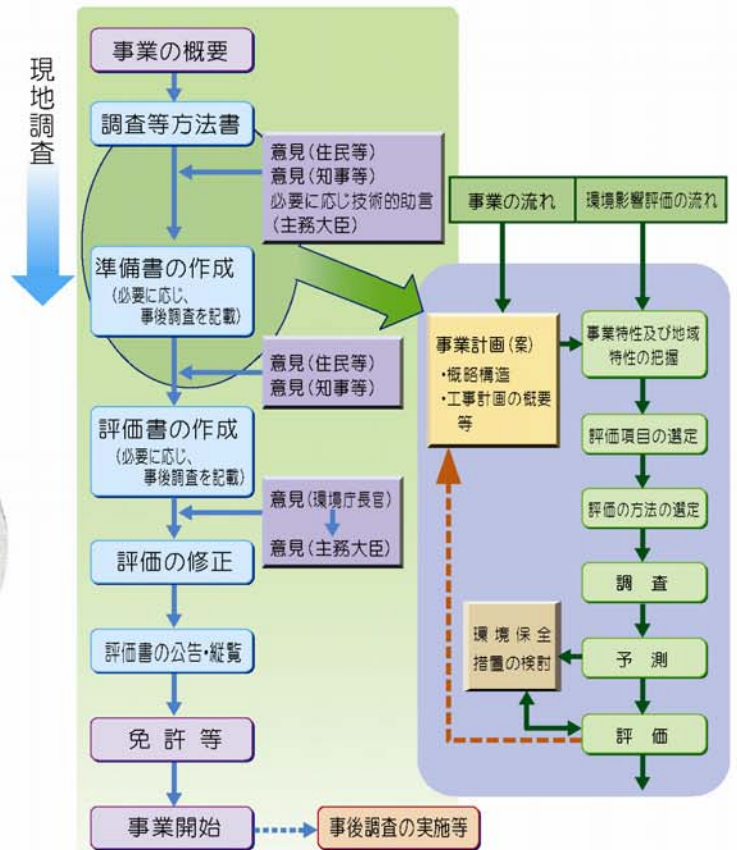
環境保全に対する考え方

・足羽川ダムの建設にあたっては、事前に環境影響評価法に基づく環境影響評価を実施することとしており、ダム建設中および完成後の大気・水環境や動植物・景観等の自然環境への影響などを評価し、必要に応じて適切な対策を実施し、できるだけ環境の保全に努めていきます。

・ダム完成後も自然環境への影響をモニタリングし、評価時の予測に対し乖離が生じた場合は、その度合いにより評価を見直し、必要に応じて対策を実施します。



環境影響評価の流れ



今後20~30年の間の整備による洪水調節効果

◆足羽川下流域の被害軽減効果

足羽川ダム(1川導水)と九頭竜川、日野川、足羽川を整備計画の目標まで整備すると、戦後最大規模の洪水(福井豪雨を含む)が発生した場合、現況の河道・施設で想定される被害を解消することができます。



現況の河道・施設で戦後最大規模の洪水(福井豪雨を含む)が発生した場合の浸水想定区域

◆足羽川上流域の被害軽減効果

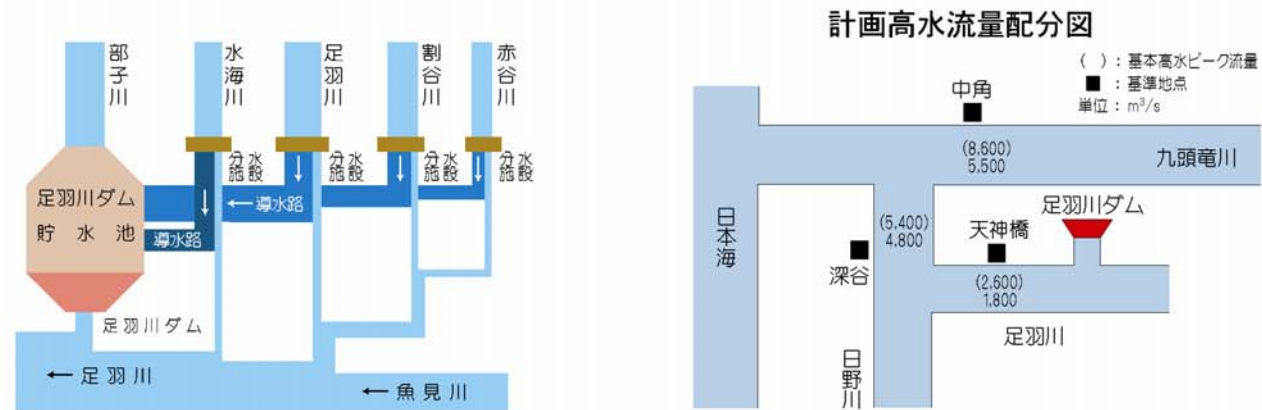
足羽川ダムは上流でも効果を発揮し、現在の河道のまま足羽川ダム(1川導水)が建設された場合、福井豪雨による浸水区域は大幅に減少していたと予想できます。

なお、ダム建設後も残る浸水区域は、今後の河川改修と足羽川、割谷川、赤谷川の分水施設により、被害をさらに減少することができます。



洪水調節

足羽川ダムの洪水調節は、水海川、足羽川、割谷川、赤谷川から洪水の一部を足羽川ダムへ導水し、天神橋地点における基本高水のピーク流量 $2,600\text{m}^3/\text{s}$ を $1,800\text{m}^3/\text{s}$ に低減させる計画となっています。



足羽川ダム事業のこれまでの経緯

- S42年度 …… 予備調査着手
- S58年度 …… 実施計画調査着手
- H4年11月 …… 美山町長が建設促進陳情、12月町議会でダム受け入れ表明
- H6年度 …… 新規建設着手
- H7年9月 …… ダム建設事業審議委員会を設置
 < 審議委員会12回、勉強会3回、現地視察、意見を聞く会 >
- H9年9月 …… ダム審議委員会が局長に答申
 答申の内容 ・足羽川ダムは治水・利水・環境の観点から必要である。
 ・現ダム計画(美山サイト)は大きな犠牲を伴い地元同意を得ることは困難な状況から、水没世帯が極力少なくなるよう事業者は最善の努力をすべき。
- H11年11月 …… 現ダムと比較できる代替候補案の机上検討結果を公表
 ・代替候補案(部子川サイト): ダム(部子川) + 導水(4流域)
 ・今後の方針: 「技術的に実現可能か現地調査を実施し……現ダム(美山サイト)と総合的に比較検討して、ダム計画の方針について公表する。」
- H14年1月 …… 県から「足羽川ダムに係る水需要計画」の回答
 ・足羽川ダムの新規利水(上水道・工業用水)は不参加としたい。
- H14年5月 …… 「九頭竜川流域委員会」が設立
- H14年7月 …… 「部子川のダムサイトを足羽川ダム計画として提案していく」と公表
 ・第3回九頭竜川流域委員会(現地調査)の場で、「総合的に判断し、代替候補案ダムの方が優位」とし、今後は部子川サイトを足羽川ダム計画として提案して行きたいと説明。
- H16年7月 …… 福井豪雨発生(足羽川左岸4.6km付近で越水破堤)
- H16年11月 …… 第25回九頭竜川流域委員会において「福井豪雨規模の洪水にも対応した治水容量でのダム建設計画」についておおむね理解が得られた。
- H18年2月 …… 「九頭竜川水系河川整備基本方針」策定
- H18年3月 …… 福井市長、三国・春江・坂井町から提出された足羽川ダム建設の早期実現を求める請願が福井県議会にて採択
- H18年5月 …… 近畿地方整備局長から福井県知事に足羽川ダム計画(案)を説明し、知事は計画(案)を理解



能面(三番叟)



龍双ヶ滝



雪に覆われた部子川

お問い合わせ



国土交通省近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所
調査設計課
〒918-8239
福井県福井市成和1丁目2111
TEL (0776)27-0642
FAX (0776)27-0643
<http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/index.html>



足羽川ダム連絡室
〒910-2512
福井県今立郡池田町稲荷34字26-1
TEL (0778)44-8331
FAX (0778)44-8332